





日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 14 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次のAからDの各文を読んで、それぞれの設問に答えなさい。答えは、解答欄に記入しなさい。

A

天智天皇が亡くなると、翌672年、天皇の弟の大海人皇子と天皇の子の大友皇子が皇位継承をめぐって対立した。大海人皇子は、吉野で兵をあげ、東国からの軍事動員に成功して、大友皇子を中心とする近江朝廷を倒した(壬申の乱)。翌673年、大海人皇子は、飛鳥浄御原宮で即位し、天武天皇となった。近江朝廷の没落とともに、近江朝廷側についた有力豪族はその勢力を失い、強大な権力を握った天武天皇を中心に中央集権的国家体制の形成が進んだ。684年には八色の姓が定められたが、これは、古い姓の制を改めて、豪族層を、^(a)天皇を中心とした新しい身分秩序に編成することをめざしたものであった。

天武天皇のあとを継いだ持統天皇も、こうした政策を引き継ぎ、690年には^(b)戸籍を作成して、民衆の把握につとめた。

問(1) 下線部(a)に関連して、八姓のうち最上位におかれた姓は何か。

問(2) 下線部(b)の持統天皇が作成した戸籍を何というか。

B

1335(建武2)年、北条高時の子時行らが反乱をおこして鎌倉を占拠すると、^(c)足利尊氏は、その討伐のため関東に下り、その後、新政権に反旗をひるがえした。1336(建武3)年、京都を制圧した尊氏は、後醍醐天皇を幽閉して持明院統の光明天皇を擁立し、幕府再興の方針を明らかにした^(d)建武式目を定めた。しかし、後醍醐天皇は、吉野へ脱出し、正統の皇位にあることを主張した。ここに吉野の南朝(大覚寺統)と京都の北朝(持明院統)とが対立して争うことになり、以後約60年にわたる全国的な南北朝の動乱がはじまった。

問(3) 下線部(c)の反乱を何というか。

問(4) 下線部(d)に関連して、室町幕府の法令も、建武年間以後の追加という意味で建武以来追加とよばれたが、これは が室町幕府のもとでも基本法典としての生命をもっていたことを示している。空欄(ア)に該当する語句を記しなさい。

問(5) 建武式目には、「遠くは延喜・天曆両聖の徳化を訪ひ、近くは 父子の行状を以て、近代の師となす」と書かれており、鎌倉幕府の政治を継承する意志をあらわしている。空欄(イ)に該当する父子のうち、父親の人名を記しなさい。

C

応仁の乱により京都が荒廃すると、地方の戦国大名をたよりに京都を離れて地方へ下る公家も多く、各地に新しい文化の拠点がつくられた。地方の武士たちも、都への強い憧れから、積極的にこれを迎えた。なかでも、日明貿易で栄えた大内氏の城下町 には、五山の禅僧や公家が多く集まり、大内義隆を中心に儒学・有職学・五山文学などが栄えた。肥後の菊池氏や薩摩の島津氏も、儒者を招いて朱子学の講義を聞き、この地方に薩南学派が興隆するものになった。16世紀中頃、土佐では が朱子学を講じ、海南学派(南学)を形成した。関東では、15世紀中ごろ、関東管領であった上杉憲実が足利学校を再興し、全国から集まった禅僧・武士に対して高度な儒学教育がほどこされた。

問(6) 空欄(ウ)に該当する地名を記しなさい。

問(7) 空欄(エ)に該当する人名を記しなさい。

問(8) 下線部(e)に関連して、1438(永享10)年に反乱をおこしたが、上杉憲実が幕府側についたため、翌年敗れて自殺した鎌倉公方は誰か、その人名を記しなさい。

D

1637(寛永14)年の島原の乱は、幕府や大名にキリスト教への警戒感をさらに深めさせた。幕府は、1639(寛永16)年にポルトガル船の来航を禁止し、1641(寛永18)年にはオランダ商館を、平戸から、ポルトガル人の去ったあとの長崎の出島に移した。こうしていわゆる鎖国^(f)が完成した。鎖国により、日本に来航する貿易船は、オランダ船と中国船だけとなり、長崎に限って交易が認められた。海外の事情は、もっぱらオランダ船の入港のたびにオランダ商館長が幕府に提出する『』や中国船・朝鮮通信使などがもたらす情報から知ることができた。

問(9) 下線部(f)に関連して、鎖国という言葉の使用は、1801(享和元)年に長崎のオランダ通詞志筑忠雄がドイツ人医師ケンベルの『』の一章を『鎖国論』と題して訳したことにはじまる。空欄(カ)に該当する著書名を記しなさい。

問(10) 空欄(カ)に該当する語句を記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の(ア)・(イ)・(ウ)・(エ)の各ブロックの文中の空欄(番号が付された箇所)に、各ブロックの語群からもっとも適当と思われる語を選んで、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(ア) 豊臣秀吉による朝鮮出兵の後、日本と朝鮮との国交は途絶えていたが、
[1] による交渉の結果、1607(慶長12)年に朝鮮使節が来日し、これ以後、将軍の代替わりごとに通信使が来日するようになった。また1609(慶長14)年には、宗氏と朝鮮との間に [2] が結ばれ、宗氏が年20隻の貿易船を朝鮮に派遣することなどが定められた。沖縄では、1609(慶長14)年に、薩摩の島津家久の軍により、琉球国王であった [3] が捕えられ、琉球王国は薩摩藩の支配下に入った。しかし、琉球王国はそれ以後も中国から冊封を受け、複雑な両属関係にあった。

〔語 群〕

- | | | |
|----------|---------|--------|
| A 嘉吉条約 | B 濟物浦条約 | C 己酉約条 |
| D 乙巳保護条約 | E 尚 円 | F 尚 泰 |
| G 尚 寧 | H 尚巴志 | I 宗貞茂 |
| J 宗貞盛 | K 宗義調 | L 宗義智 |

(イ) 18世紀に入り、[4] は、朝鮮使節の待遇を簡素化したほか、朝鮮の国書における「日本国大君殿下」という将軍の呼称を「日本国王」にあらためさせ、将軍が一国を代表する権力者として位置づけられることを明確にした。しかしその後、[5] の治世以降は、もとの「大君」という呼称に戻った。

〔語 群〕

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| A 新井白石 | B 田沼意次 | C 徳川家重 | D 徳川家斉 |
| E 徳川家治 | F 徳川家茂 | G 徳川家慶 | H 徳川綱吉 |
| I 徳川慶喜 | J 徳川吉宗 | K 松平定信 | L 水野忠邦 |

(ウ) 明治維新後、日本政府は朝鮮に対して条約の締結を申し入れたが、当時の国王の実父であった大院君が、排外的な鎖国政策をとり、交渉に応じなかったため、政府内では [6] らによって、朝鮮に対する強硬的な意見が主張された。これが征韓論である。しかし、岩倉具視を全権大使とする遣外使節に参加して帰国した大久保利通らが征韓論に反対したため、 [6] ら征韓派の参議はいつせいに職を辞した。

その後、1875(明治8)年に江華島事件がおり、翌年の1876(明治9)年、 [7] と井上馨が全権として朝鮮に派遣され、日朝修好条規が締結された。それは、日本の領事裁判権や課税免除を認めさせることなどを内容とする、不平等条約であった。

また、ロシアとの国境に関する問題については、1875(明治8)年に、特命全権公使である [8] とロシア外相との間で、樺太・千島交換条約が結ばれ、千島全島を日本領、樺太をロシア領とすることとされた。

[語 群]

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| A 青木周蔵 | B 板垣退助 | C 伊藤博文 | D 井上毅 |
| E 榎本武揚 | F 大木喬任 | G 大隈重信 | H 黒田清隆 |
| I 寺島宗則 | J 前原一誠 | K 陸奥宗光 | L 山県有朋 |

(エ) 日朝修好条規が締結された後、1882(明治15)年に、日本への接近を強める閔氏一族に対して大院君を中心とした勢力が反乱をおこし、日本大使館も襲撃の対象となった。この事態に対し日本政府は嚴重に抗議し、結果として、日朝間において、 が締結され、日本は朝鮮に対し、賠償金の支払いと公使館守備兵駐留権を認めさせた。

その後、朝鮮における日本と清国との対立が深まるなか、日本にならい国内改革を行おうとする独立党が日本公使館の援助のもとにクーデタをおこしたが、清の干渉により失敗した。この事件によりさらに悪化した日清関係を打開するために、1885(明治18)年には、日清両国間で、両国軍の朝鮮撤退などを内容とする が結ばれた。また同年には、日朝両国間において、朝鮮による日本への損害賠償の支払いや謝罪使の派遣などを内容とする、 が結ばれた。

[語 群]

- | | | |
|------------|----------|----------|
| A 乙巳保護条約 | B 漢城条約 | C 濟物浦条約 |
| D 下関条約 | E 日華基本条約 | F 天津条約 |
| G 南京条約 | H 日清互換條款 | I 日清修好条規 |
| J 日清通商航海条約 | K 北京条約 | L 北京議定書 |

〔Ⅲ〕 次のAからCの各文(一部変更を加えている)を読んで、それぞれの設問に答えなさい。答えは、解答欄に記入しなさい。

A

異国船渡来の節取計方、前々より数度仰せ出されこれ有り、おろしや船の儀については、文化の度改めて相触れ候次第も候処、いきりすの船、先年長崎において狼籍に及び、近來は所々へ小船にて乗寄せ、^(a)薪水食料を乞ひ、去年に至り候ては猥に上陸致し、或は廻船の米穀、鳴方の野牛等奪取候段、追々横行の振舞、其の上邪宗門に勸入れ候致方も相聞へ、旁捨置れ難き事に候、一体いきりすに限らず、^(b)南蛮・西洋の儀は御制禁邪教の国に候間、以来何れの浦方におゐても異国船乗寄候を見受候はば、其所に有合候人夫を以て、有無に及ばず一匁に打払い、^(c)逃延候はば、追船等差出すに及ばず、其分に差置き、^(d)若し押し上陸いたし候はば、搦捕又は打留め候ても苦しからず候。
(略)尤唐・朝鮮・琉球などは船形人物も相分かるべく候得共、阿蘭陀船は見分も相成かね申すべく、右等の船、万一见損ひ、打誤り候共、御察度はこれある間敷く候間、^(d)二念無く、打払を心掛け、匁を失はざる取計候処、^(c)専要の事に候条、油断無く申し付けらるべく候。

(「御触書天保集成」)

問(1) 下線部(a)は、1808(文化5)年に長崎で起きた事件をさしている。何とよばれているか。

問(2) 下線部(b)の「邪宗門」とは、何のことであるか。

問(3) 下線部(c)の国名は何か。カタカナで答えなさい。

問(4) 上の文章は、1825(文政8)年に徳川幕府により出された海防令であるが、何とよばれているか。下線部(d)を参照して答えなさい。

B

国民が多年幾多の犠牲を払って、その実現のために闘った普通選挙法は、大正十四年三月初めて議会を通過し、無産大衆は茲に初めて を得、左翼運動者は理論闘争から合法的政治運動への進路を発見した。然しながら、無産大衆に を与へた三派の連立内閣は、同じ議会において治安維持法を通過せしめてその功罪を相殺した。明治初期における日本国民は、集会条例と保安条例と新聞紙条例、出版条例の暴圧の下にその の自由を奪はれた。而して今に至つて治安維持法、治安警察法、行政執行法、 の四つは同じ力と権威とを以て国民の上に臨んでゐる。言論の自由は、毫も伸張を見ずといふも不可なく、而もこれ等の法律は極めてその解釈が漠然としてゐるので、当局の認定のみによつて、如何にもその範囲を拡大し得るの危険を有してゐるのである。

(美土路昌一『明治大正史(言論編)』)

問(5) 空欄(ア)に該当する語句を記しなさい(漢字3字)。

問(6) 空欄(イ)に該当する語句を記しなさい(漢字4字)。

問(7) 空欄(ウ)は、1909(明治42)年に公布された言論についての取締法である。該当する語句を記しなさい。

C

三大国即チ「ソヴィエト」連邦、「アメリカ」合衆国及 (エ) ノ指揮者ハ、「ドイツ」国力降伏シ且「ヨーロッパ」ニ於ケル戦争力終結シタル後二月又ハ三月ヲ経テ、「ソヴィエト」連邦カ左ノ条件ニ依リ連合^よ国ニ与^{くみ}シテ日本ニ対スル戦争ニ参加スヘキコトヲ協定セリ。

一 外蒙古(蒙古人民共和国)ノ現状ハ維持セラルヘシ

二 千九百四年ノ日本国ノ背信的攻撃ニ依リ侵害セラレタル「ロシア」国ノ旧権^(e)利ハ左ノ如ク回復セラルヘシ。 . . .

三 千島列島ハ「ソヴィエト」連邦ニ引渡サルヘシ。 . . .

三大国ノ首班ハ、「ソヴィエト」連邦ノ右要求カ日本国ノ敗北シタル後ニ於テ確実ニ満足セシメラルヘキコトヲ協定セリ。

「ソヴィエト」連邦ハ、中華民国ヲ日本ノ羈絆ヨリ解放スル目的ヲ以テ、自己ノ軍隊ニ依リ之ニ援助ヲ与フル為、「ソヴィエト」社会主義共和国連邦中華民国間友好同盟条約ヲ中華民国国民政府ト締結スル用意アルコトヲ表明ス。

(『日本外交年表並主要文書』)

問(8) 上の文章は、1945(昭和20)年2月、ソ連領クリミア半島で開催された三大国の首脳会談で結ばれた秘密の取決めである。何とよばれているか。

問(9) 空欄(エ)に該当する国名をカタカナで記しなさい。

問(10) 下線部(e)は、具体的には何をさしているか(漢字4字)。

[IV] 次の(ア)・(イ)・(ウ)・(エ)の各ブロックの文中の空欄(番号が付された箇所)に、各ブロックの語群からもっとも適切と思われる語を選んで、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(ア) 1940(昭和15)年6月、近衛文麿は枢密院議長を退き、全国民の戦争協力を目指す新体制運動の中心的人物となった。この運動の下で既存の諸政党は解散することとなり、まず同年7月には無産政党が合同してできた が、同年8月には当時の二大政党の一方であった が解党した。この運動を受けて、同年10月には が発足し、近衛文麿はその総裁となったが、これは国民総動員体制の中核組織と位置づけられた。その後、太平洋戦争が始まると、1942(昭和17)年に東条英機内閣の下で総選挙が実施され、 によって推薦された多数の候補者が当選した。この総選挙の後、東条内閣によって認められた政治結社として が発足し、大多数の議員がこれに参加した。

[語 群]

- | | |
|----------|-------------|
| A 立憲政友会 | B 社会民衆党 |
| C 翼賛議員同盟 | D 全国労農大衆党 |
| E 国民同盟 | F 社会大衆党 |
| G 大政翼賛会 | H 翼賛政治体制協議会 |
| I 日本無産党 | J 翼賛政治会 |
| K 立憲民政党 | L 大日本翼賛壮年団 |

(イ) 第二次世界大戦後、一連の民主化政策が進むと女性の法的地位も大幅に向上することになった。例えば、1945(昭和20)年12月に改正された において女性参政権が認められ、1947(昭和22)年4月に制定された においては男女同一賃金が規定された。さらに、 が同年5月に施行されたことを受けて、同年10月に改正された においては姦通罪が廃止され、同年12月に改正された においては戸主制が廃止された。その後も1985年(昭和60)年には女子差別撤廃条約批准のための国内法整備の一環として が制定されるなどして今日に至っている。

[語群]

- | | |
|-------------|-----------|
| A 労働組合法 | B 公職選挙法 |
| C 民法 | D 日本国憲法 |
| E 男女雇用機会均等法 | F 刑法 |
| G 衆議院議員選挙法 | H 労働基準法 |
| I 参議院議員選挙法 | J 労働関係調整法 |
| K 地方自治法 | L 戸籍法 |

(ウ) 1951(昭和 26)年に開かれた講和会議においてサンフランシスコ平和条約が調印され、日本は独立国としての主権を回復した。しかし、1949(昭和 24)年に成立を宣言した A と、第二次世界大戦前から存続していた B は、この講和会議に招かれておらず、これらとの国交の回復が問題となった。そのため、日本は、1952(昭和 27)年に、まず B と [6] を結んだが、なお国交のない A との間では、1962(昭和 37)年に [7] と呼ばれた取り決めに結んだ。その後、1972(昭和 47)年に田中角栄首相自らが A を訪れて [8] を発表し、A との国交正常化が実現した。この結果 [6] は廃棄され、日本と B との外交関係は断絶したが、翌 1973(昭和 48)年には、民間交流の維持を図るための協定が結ばれるなど、経済的な側面においては密接な関係が続けられた。

[語 群]

- | | |
|--------------|-------------|
| A 東南アジア三原則 | B インドシナ休戦協定 |
| C LT 貿易 | D 日中平和友好条約 |
| E 日華平和条約 | F 平和五原則 |
| G 日中共同声明 | H 平和十原則 |
| I 日中(日華)関税協定 | J MSA 協定 |
| K 日中間第一次貿易協定 | L 北京議定書 |

(エ) 大衆文化は、1925年(大正14)年のラジオ放送の開始と、1953(昭和28)年のテレビ放送の開始とともに発展していった。戦前では、1915(大正4)年に始まった [] や、1925(大正14)年に発足した [9] の、ラジオによる実況放送が人気を呼び、1936(昭和11)年に開催された [] も、ラジオによって実況放送された。

戦後では、1959(昭和34)年における [] の実況放送のころから、テレビは急速に普及した。さらに、1964(昭和39)年に開催された [10] のテレビによる実況放送は、高視聴率を達成し、同時に日本の復興を国の内外に示すこととなった。

[語群]

- | | |
|---------------------|----------------|
| A のど自慢素人音楽会 | B 日本万国博覧会 |
| C 東京六大学野球 | D 全国中等学校優勝野球大会 |
| E オリンピック・ロサンゼルス大会 | F 国民体育大会 |
| G オリンピック・ベルリン大会 | H 皇太子結婚パレード |
| I FIFA ワールドカップ・日韓大会 | J 全国高校野球選手権大会 |
| K オリンピック・東京大会 | L 築地小劇場 |